

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【公開番号】特開2020-162724(P2020-162724A)

【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2019-64395(P2019-64395)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月23日(2022.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の表示演出を実行可能な表示手段を備える遊技機であって、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第1の表示演出をおこなう場合があり、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第2の表示演出をおこなう場合があり、前記第1の表示演出は、遊技者に対して遊技球を第1の方向に射出するように示唆する第1の方向示唆表示をおこなう演出であり、

前記第2の表示演出は、遊技者に対して遊技球を第1の方向とは異なる第2の方向に射出するように示唆する第2の方向示唆表示をおこなう演出であり、

前記第1の表示演出と前記第2の表示演出と含む組み合わせ演出をおこなわれる場合があり、

前記組み合わせ演出では、前記特別図柄の特定の一変動において、前記第1の表示演出と前記第2の表示演出とがおこなわれる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

40

[適用例1]

複数の表示演出を実行可能な表示手段を備える遊技機であって、

前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第1の表示演出をおこなう場合があり、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、第2の表示演出をおこなう場合があり、前記第1の表示演出は、遊技者に対して遊技球を第1の方向に射出するように示唆する第1の方向示唆表示をおこなう演出であり、

前記第2の表示演出は、遊技者に対して遊技球を第1の方向とは異なる第2の方向に射出するように示唆する第2の方向示唆表示をおこなう演出であり、

前記第1の表示演出と前記第2の表示演出と含む組み合わせ演出をおこなわれる場合があり、

50

前記組み合わせ演出では、前記特別図柄の特定の一変動において、前記第1の表示演出と前記第2の表示演出とがおこなわれる、ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50